

はっぴい

第 78 号

編集・発行
白山高等学校PTA

印刷
伊藤印刷株式会社

2024. 7

ご挨拶



PTA会長 荒木 美和

令和六年度白山高等学校のPTA会長を務めさせていただくことになりました。荒木美和と申します。先日は総会での承認、誠にありがとうございました。

四月に新年度がスタートし、今まで規制されていた行事が、ほぼ通常に行われることとなります。今まで以上に制限なく、子どもたちが行事などを開催されることを嬉

しく思います。

これから子どもたち自身が地域での活動や学校行事などをすすめ、自立した人間になれるように私たち親も協力し、サポートできるようにしていきたいと思っています。

白山高等学校に入学し素敵な思い出ができる様に、保護者の皆様にも是非PTA活動にご参加していただきたくご協力お願いいたします。

短い挨拶ではございますが、この一年を有意義ある活動ができますようPTA役員一同精進させて頂きます。

ご挨拶



校長 奥出 博之

夏の盛りを感じる季節になりました。PTA会員の皆さま、いかがが経過でしょうか。

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。白山高校でお世話になり、三年目となりました校長の奥出博之です。今年度もよろしくお願

いいたします。新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが昨年五類に移行され、ほぼ通常の学校運営が取り戻されました。普段の授業や学校行事が行われる学校生活に生徒も少しずつ慣れ、子どもたちにも笑顔が取り戻されてきているようです。「普段通り」という言葉の意味を実感しているのは、私だけでしょ

さて、令和六年三月に三重県の教育振興に関する基本的な計画として位置づけられる「三重県教育ビジョン」が新たに策定されました。人口減少、少子・高齢化の進行による社会情勢の変化のみならず「ひとり親」と子からなる世帯」は増加し、「三世代世帯」は減少する家庭環境の変化など、さまざまな社会課題が存在するなか、個人と社会が身体的・精神的・社会的に良い状態（ウェルビーイング）の実現をめざすことが大切であると記されています。本校も例外ではないと思います。生徒一人ひとりが自分のよさや可能性を認識するとともに、さまざまな社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓け

る力を身につけることができ、子どもたちに笑顔の絶えない学校運営を一層継続させていきたいと改めて感じているところです。

次いで一学期の学校の様子などや私を感じていることなどです。新入生は入学後、中学校との学習スタイルが大きく異なり、日々の生活に慣れる一学期だったように思います。例えばレポートなどの提出物も多くなり、予習や復習に多く時間がさかれています。今後もご家庭での声掛けをお願いします。上級生は自らの目標に向かって、安定し充実した学校生活を送っているようです。大きく成長してくれることを願っています。学校行事の方は、四月には仲間づくりの遠足、六月には体育祭と「家城地区クリーン作戦」を実施しました。体育祭では、五十名ほどの保護者の皆様に参観していただきました。ありがとうございました。「家城地区クリーン作戦」は、家城地域の方々とともに学校周辺地域の清掃活動などを行う行事です。小雨まじりの天候でしたが、六十名ほどの生徒と職員が参加しました。家城地域の方々との清掃活動や家城駅前花壇へお花の植栽活動(写真)は、貴重な経験となりました。それから、日本代表選手としてアジアレ



スリング選手権大会に参加する生徒や夏休み期間中に九州で行われる全国高等学校総合体育大会(インターハイ)に、東海地区代表として出場する生徒もいます。本校のスクールポリシーは、「夢の実現へ」あなたの好きを見つけてよう。です。どんな目標でも構いませんが、自らの目標に向かって、主体的・意欲的に取り組む子どもたちの真剣な笑顔が、何より嬉しく感じます。

最後になりますが、五月の授業参観では四十名を超える保護者が参観されました。保護者の皆様の白山高校の教育活動への関心の高さを示していると感じました。一方、お子さまのさまざまな心配なことを、一人

で抱えてみえる方もいらっしゃるのではないかと思います。是非これからも、本校のPTA活動などに積極的に参画され、子育ての悩みを互いに共有することで、解決の糸口が見つかるような一層充実したPTA活動としませんか。保護者の協力こ

各分掌より

教務部

「白山高校の教育」

教務主任 野田 真司

平素は白山高校の様々な教育活動にご理解とご協力を賜りまして厚くお礼を申し上げます。今年もよろしくお願いいたします。

本校では、学校が取り組む姿勢として「あいさつ・ルール・美化の三つの言葉を核に進める」というのがあります。教務部としても、「一、きちんと挨拶ができる。」「二、時間を守り、身の回りの整理・整頓、掃除などができる。」「三、相手の気持ちを考え、ルールを守り適切に行動することが出来る。」「三つの目標を掲

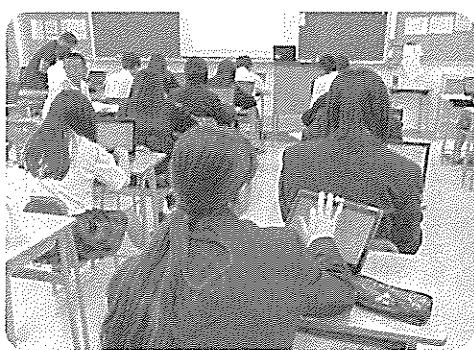
そが、子どもたちの笑顔があふれる学校に何より不可欠なことだと思います。結びに、本校の教育活動の充実・発展のために、より一層のご理解とご協力を重ねてお願いいたします。ご挨拶とさせていただきます。

げて取り組んでいます。また、卒業後の進路希望をかなえられるように、また、社会人にふさわしい知識や態度の形成のため、三年間の授業を中心とした学習活動をはじめ、部活動、生徒会活動などいろいろな活動を通して進めています。

日々の授業の時間を大切に、少しでも生徒にとってわかりやすい授業ができるよう、『ユニバーサルデザイン』の授業を行うことに力を入れています。また、一年生のほとんどの科目の授業で、クラス・学科を分割した授業、T.T(チームティーチング)の授業を行い、きめ細かい指導とともに、落ち着いて授業を受けられる環境づくりを進めており、生徒が安心して授業を受けられるよう

に取り組んでいます。

また、総合的な探究の時間では、本校の教育目標である「地域を愛し、地域の活性化に貢献できる若者の育成」に沿って、各学年で様々な活動を行っています。一年生では、一昨年度から導入された一人一台端末の使い方を学習し、それを教科学習や調べ学習に活用することで、学習することの意義や「生きる力」について考えさせる授業を行っています。二年生では、「地域課題解決型学習」を主たるテーマに、「歴史研究、ヒト・モノ・シゴト、地域発見、地域の歴史、情報発信、白山グルメ」の六分野に分かれ、それぞれの分野の視点から地域の課題解決や活性化についての活動を行っています。三年生では、地域の事業所の皆さんにご協力



授業風景①
1年：総合的な探究の時間



授業風景②
3年：インターンシップ

をいただき、年間を通してのインターンシップを実施しています。また、面接指導、作文指導にも力を入れ、生徒の希望する進路が実現できるように取り組んでいます。

一昨年度から、学習指導要領の改訂に伴って、新しい教育課程による授業が始まっています。授業の中心や求められる力が変わり続ける中、ICT機器を活用する授業など、生徒にとってより充実した授業を行えるように、今年度も様々な取組をしているところです。

このような学習活動を通して、生徒が成長することを願い、生徒の意欲に応えるためのサポートをさせていただきますので、今後ともご協力をお願いいたします。

生徒指導部

『日々精進』

生徒指導部主任 土方 正仁

コロナウイルスによる制限もほぼなくなり、学校行事では体育祭やクラスマッチも盛り上がり、通常の学習活動においても落ち着いて行うことができていると感じています。ご家庭におかれましても、様々な面でご協力いただき、いつもありがとうございます。

さて、白山高校では、「あいさつ・ルール・美化」の三つのことばを大切にしています。

「あいさつ」については、生徒指導部や生徒会顧問が中心となって毎朝校門前や正面玄関前で挨拶運動を行っています。生徒会役員の生徒たちが、毎朝元気にあいさつ運動をしてくれているので、多くの生徒がそれに對し、あいさつを返してくれま

す。中には恥ずかしがって礼だけの生徒、または、声に出なくてニコッと笑ってくれる生徒もいます。やはり、あいさつは生活の基本ですから、今後もしっかりと継続していきたいと考えています。

校のゴミは年々少なくなっており、生徒一人ひとりのモラルが向上していると思います。今後も粘り強く啓発を行っています。

「ルール」について、生徒指導部では学校のルールについて生徒にたくさん言葉掛けをします。社会に出て頼られる人間になるために、ルールを守ることは大変重要なことだと思います。

日ごろから生徒にはよく言っていますが、人間は成長していく過程で必ず失敗をするものです。しかし、その失敗から成功へつながる何かをつかむことが大切で、それを学ぶのが学校なのだと思います。例えば安易に遅刻を繰り返してしまっても、遅刻指導のあと、全く遅刻をしなくなった生徒たちがいます。「おそらくその生徒たちは「遅刻はだめ」ということを感じてくれたのでしょう。白山高校にはそんな生徒がたくさんいます。失敗から得る教訓を大切に、日に日に絶え間なく成長、進歩してくれる生徒が今後も増えるよう、生徒指導部としては、時に厳しく、時に優しく生徒を見守っていききたいと思っています。

進路指導部

白山高校の進路指導

進路指導部主任 塩谷 正雄

私たちの高校の進路指導室では、新しい取り組みとしてキャリア教育を強化していきたいと考えています。この取り組みの目的は、生徒一人ひとりが将来のキャリアについて深く考え、自分の人生を充実させるための準備をすることです。

現代社会は急速に変化しており、生徒たちが将来に備えるためには、単なる学業の成績だけでなく、自己理解や職業適性の探求が欠かせません。そこで、私たちは教員自身も新たな情報やスキルを取り入れることで、より質の高い指導ができるよう努めています。また、すべての教科で、生徒が今後の人生に役立つ知識の基礎となる土台を築くことを目指しています。数学や科学では問題解決能力や論理的思考を養い、言語科目ではコミュニケーション能力を高め、芸術やスポーツでは創造性やリーダーシップを育む活動を通じて、多様なスキルと経験を身につけ、商業科目ではより社会に根差した、新しい価値の創造を生み出す機会を提供しています。さらに、学校行事や特別活動を通

じて、実際の職業体験や業界研究に直結する機会を生徒たちに提供しています。例えば、企業訪問やインターシップ、プロフェッショナルな講演会などを通じて、現場での学びを深めることができるよう支援しています。これらの経験は、生徒たちが将来のキャリア選択に向けて具体的なイメージを持つ手助けとなります。私たちの目標は、すべての教科を通じて、生徒たちが自身のキャリアを積極的に構築していく力を身につけることです。これにより、彼らが卒業後も成長し続け、将来の80年の人生を豊かに、意義あるものにしていくようサポートしていきます。学校全体での取り組みとして、キャリア教育を授業だけでなく学校行事やクラブ活動、地域との連携イベントにも積極的に取り入れていきます。例えば、学校祭や文化祭を通じて、生徒たちが企画運営から実施までのプロセスを体験し、リーダーシップやチームワークを養う場を提供しています。また、地域の専門家や企業と連携してキャリア関連の講演会やワークショップを開催し、最新の動向や求められる能力について学ぶ機会を提供しています。さらに、学校全体での取り組みを支えるために、教員自身のキャリア



教育に対する理解とスキルの向上を目指していきます。定期的な研修やワークショップを通じて、教員が最新の教育手法やキャリア支援のノウハウを習得し、生徒たちをより良くサポートできるよう努めています。このような取り組みは、生徒たちが自己実現と社会貢献を目指すための重要な一歩となります。私たちは、生徒一人ひとりが自分の強みを見出し、その強みを社会に生かしていくための基盤を提供することを誇りに思っています。

日頃より、お子様の健康管理ならびに学校における感染症対策にご理解、ご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。本校の保健室では、健康診断、健康相談、応急処置を行っております。その他の活動としまして、性に関する指導、命を大切にする教育なども実施しております。また本校はスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの拠点校となっております。スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの面談は、保護者の方でもご利用になれます。お子様の気になる様子や心の悩み、また保護者の方ご自身の子育ての悩みにも、相談をお受けいたします。専門的な知見をお持ちの各先生方とともに、お子様の学校生活を支援させていただきたいと考えております。スクールカウンセラーの二学期最初の来校日は九月四日（水）を予定しております。面談を希望される場合は、担任または保健室までご連絡ください。今後とも、白山高校保健部の活動に、ご協力よろしく願っています。

保健部

保健部より

図書館

図書館より

(概要)

蔵書数：約一六、一〇〇冊

新聞：三誌

雑誌：十誌

検索・学習用パソコン：二台

座席数：三十六席

貸出冊数：一〇冊まで

貸出期間：二週間

白山高校図書館は二棟三階に位置し、クラスの教室と近いため、授業の間の休憩時間にも生徒が気軽に来館します。読書や勉強、電車待ち、くつろぎの場所として利用されています。学校図書館は、読書相談や生徒が本に親しむように取り組んでいます。六月に「梅雨の読書キャンペーン」、七月に「白山高校生に読んでほしい本」の冊子の発行、秋の読書週間に



「図書委員のおすすめ本」の展示など行います。また、調べ学習などで、授業でも利用されています。

本校図書館の蔵書は、生徒を通じて保護者の方でもご利用いただけます。ホームページにて、新着図書案内を掲載しておりますので、また、ご活用ください。



生徒会

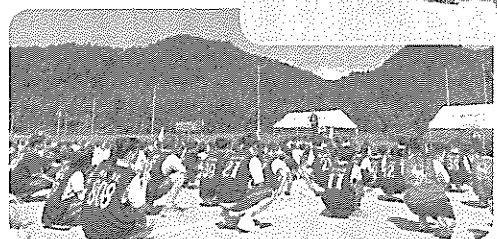
生徒会より

本年度も、生徒会の最初の活動として、四月に新入生を迎え恒例の対面式を実施することができました。また、部活動紹介を経てそれぞれの生徒たちは希望する部に入部し、放課後や週末には練習に一生懸命取り組んでいます。また、県大会や東

海大会に出場するクラブの選手たちを全校生で応援する壮行会を開催できるのは嬉しいことです。

さて、生徒たちにとって大きな学校行事と言えば、体育祭と文化祭です。今年は天気にも恵まれ、六月五日に体育祭を開催し、保護者の方にも観覧していただきました。クラス旗を作ったり、お揃いのクラスTシャツを着たりして競技や応援に盛り上がりました。今年度は、生徒会役員の企画により、昨年度、新種目として行った「お菓子食い競争」の内容を少し変更し、「しょうがいぶつ協走」と名付け実施しました。クラスみんなで団結して取り組み綱引き、大縄跳び、クラス対抗リレー、また、クラブ対抗リレーなど、高校生活の楽しい思い出になったのではないかと思います。また、文化祭に関しては、現時点では、十一月に開催する予定です。昨年度は、地域の方にもご来場いただき、模擬店の実施を行い、とても盛り上がる文化祭となりましたが、今年度もより一層、生徒みんなが楽しめて安全に実施できる企画内容を、今後、生徒会役員とともに考えていきたいと思っています。

また、今年は生徒会活動の一環として、六月九日に「家城地区クリーン作戦」という清掃活動に参加しました。



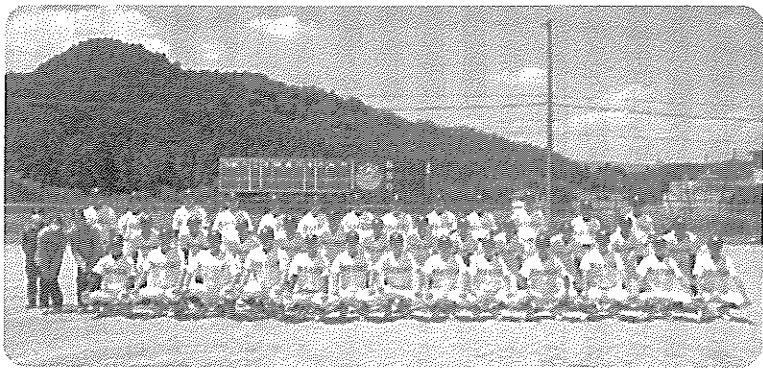
当日は小雨でしたが、各コースに分かれ清掃を行いました。約六十名の生徒と教員で清掃活動を行いました。参加した生徒たちは、限られた人数と場所、どのようにしたら効率よく清掃活動を進められるのか話し合い、自主的に活動に取り組んでいました。また、役員と生徒会顧問で毎朝行う挨拶運動では、朝、校門で大きな声で挨拶をすると、ほとんどの生徒が元気に挨拶をしてくれるようになりました。これからも地域社会に支えていただけるように、生徒一人ひとりの意識向上に取り組むみたいと思っています。

今後とも、保護者の皆様のご支援、ご協力をよろしく願っています。

部活動の紹介

硬式野球部

私達白山高校野球部は、現在三年十三名、二年十二名、一年十四名、マネージャー四名の計四十三名で日々の練習に励んでいます。



新チームとして臨んだ秋季三重県大会では、二回戦で近大高専と対戦しました。試合では、相手の好投手を前に、思うようにプレーできずに敗れてしまいました。悔しい気持ちに胸に、自分たちの練習姿勢や意識をこれまでに以上に改善し、個人のレベルアップ、チーム力向上を目指し、日々練習に励んでいます。

冬の間は、体づくりを中心に、守備・バッティングの基礎をしっかりと練習しました。苦しい練習もありましたが、チームみんなで声を掛け合って乗り越えました。

そして迎えた春季大会。二回戦で三重高校に敗れ、まだまだ相手との力の差があることを痛感したものの、強豪とも互角に戦える手応えを強く感じる大会になりました。

バスケットボール部

自己新記録をマークし十六位でした。秋の東海高校新人やU-16の全国大会に向けて楽しみな結果となりました。

今後の大会予定
三重県陸上競技選手権大会（伊勢）
七月十三日（土）～十四日（日）
東海陸上競技選手権大会（岐阜）
八月十七日（土）～十八日（日）
三重県高校新人大会（四日市）
九月二十一日（土）～二十二日（日）
U16陸上競技大会（三重・伊勢）
十月十八日（金）～二十日（日）
東海高校新人大会（三重・伊勢）
十月二十六日（土）～二十七日（日）

シーズン後半も、結果より競技そのものを楽しむことを大事にしてほしいと思います。白山高校での陸上競技をやり切りましょう！



男子バスケットボール部は現在、三年生の最後の大会となる選手権大会に向けて、日々練習に励んでいます。最近では、真剣に取り組むときと、楽しむときのメリハリを自分たちでつけられるようになってきました。

ての方に感動を与えられる試合が出来るよう頑張っています。

保護者やOBの方々、そして地域の皆様には、日頃から白山高校野球部の活動にご理解ご協力を賜り、部員、顧問一同、深く感謝いたしております。部員達には、高校野球に携わる者として、野球を通して、人としても大きく成長してもらいたいと願っています。最後の大会、チームの力を一つにして一戦必勝で勝ち進み、甲子園出場を果たせるよう頑張ります。今後とも、応援よろしくお願いいたします。

陸上競技部

本年度陸上競技部は、男子五名・女子一名の計六名で活動をスタートしました。

トラック種目は百m、フィールド競技は砲丸投・円盤投・走幅跳の種目に絞り、今年も全員自己新・東海大会出場・全国大会出場を目標に日々の練習を重ねています。

『陸上競技をするのは、目標を達成して自分が喜ぶと同時に、家族や仲間を喜ばせ、地域や学校に刺激を与えることが目的』という白山高校陸

上競技部の活動方針のもと、今シーズンも頑張っています。四月の国体一次予選では、三年生の宮田が少年男子円盤投で三十六m十七の自己新記録をマークして八位、一年生の伊藤も少年B円盤投に出場し四位という結果でした。

五月の県総体では宮田が男子円盤投で十位・砲丸投で十四位という結果で、東海総体に出場するという目標まであと少しというところでした。宮田も指導者側も本当に悔しい思いをしました。それは彼がこの三年間誰よりも本心に努力してきたからこそ感じる事ができる悔しさであり、この気持ちを忘れず七月の三重県選手権につけてもらいたいと思います。



また高校から競技を始めた一年生の平林も女子砲丸投で八m三十四の記録をマークし十六位でした。秋の東海高校新人やU-16の全国大会に向けて楽しみな結果となりました。

練習試合ではやらないような様々なチームとの対戦を通して、考えること・周りを見て行動すること・思ったことを伝えること・感謝の気持ちを大切に、最後の大会に自信を持ったプレーで挑めるよう、チーム一丸となって取り組んでいます。

保護者の皆様には、日頃からバスケットボール部の活動にご理解とご協力をいただき深く感謝しております。また、OB、先生方の応援や支援があつてこそ現在のであると肌で感じており、部員、顧問一同深く感謝しております。

卓球部

卓球部は、今年度、三年生四名で活動しております。毎日放課後、地道に練習をしてきました。本校は、強豪揃いの中勢地区に配置されており、今年度は残念ながら県総体出場を果たすことができませんでした。また、六月一日の県総体団体戦は、

美術部

美術部は、現在三年生が六名、二年生が一名、一年生が三名の計十名で活動しています。

【地域と学校に少しでも貢献できる部活動にしよう】をテーマに、絵に限らずいろいろなことに取り組みたいと考えています。今年度も、ク

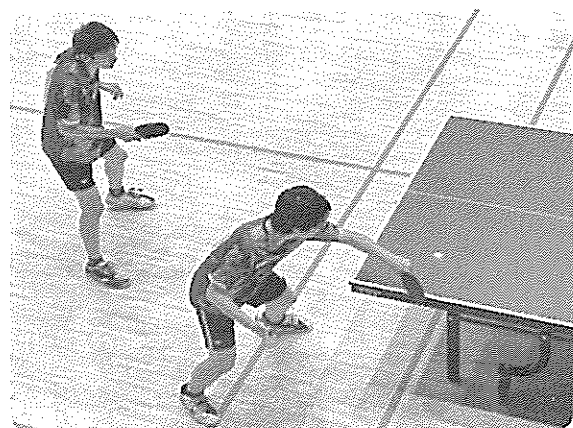


ゆるくアットホームな雰囲気の中で活動できるのが利点でもあります。ゆったりとした時間が流れる放課後の音楽室で、今日も各々がのんびりと自分のペースで楽器と向き合っています。

弓道部

男子一チームが出場予定でしたが、部員の怪我により、出場を辞退することになりました。

卓球部の活動は、「高校生として基本的な生活習慣をおろそかにせず、しっかりと授業に参加し、学力を身につけること」や「挨拶や言葉遣いなどをしっかりする」といったことも目標として、一人ひとりがこまめに頑張っていました。卓球をとおして、技術面、精神面の両方を鍛え、仲間や様々な人とのつながりをもって努力してきたことは、それぞれの進路先においても役立つことと思います。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。



弓道部は、三年生二名、二年生五名、一年生三名の計十名で活動しています。各種弓道大会への出場と、段位の取得を目指して日々練習しています。本校の弓道部員は全員が初心者です。外部指導者の先生や上級生からの指導のほか、部員どうしがお互いの射について助言し合うことなどを通じた技術の向上を目標としています。種目の特性として、弓を引く瞬間は自己と向き合うことになり、その一方で、団体戦においては他者と協力することも求められ、選手、応援の生徒を含めた部員全員で作上げた雰囲気、試合の結果に大きく影響します。

四月の春季大会と六月の三重県高校総体では、緊張にのまれるあまりに、思うような結果を出すことができなかったようです。今後はこの悔しさを忘れることなく日々の練習に取り組み、体力・技術・精神力を伸ばしていくことで自信をつけ、良い経験を積み重ねていけるような活動をしていきたいと考えています。また、これからも正射必中を目標とした弓道部での活動を通して、主体的行動や他者貢献できる力を培ってい

きたいと考えています。最後にになりましたが、弓道部の活動につきまして、日頃よりご理解・ご協力いただき、ありがとうございます。

テニス部

今年度は一年生が多く入部しました。しかし、練習日に雨が多くなかなかうまく活動もできず、さらに今年度から顧問も変わり手探りの状態ですが、上級生を中心に一つ一つ取り組んでいっています。草むしりなどコート整備も必要で大変な部分もあるのですが、少しずつできることを増やしていき、実際に試合形式の練習ができるようになればと考えています。テニスは年齢や経験にあまり関係なく生涯にわたって楽しめるスポーツだと思っていますので、楽しくのびのびと部活動に参加できればと思います。

サッカー部

今年度のサッカー部は、三年生一人、二年生〇人、一年生二人の計三

作品を作り、さらに活動の幅を広げて意欲的に取り組んでいきたいと思っています。絵を描くのが大好きな生徒ばかりです。上手い、下手は関係なく、絵を描くのが好きな人は是非一度遊びに来てください。

書道部

書道部員は、二年生が一名、三年生が一名の二名です。一年生の入部がなく残念です。月曜と水曜の放課後に書道室で練習に励んでいます。今後の大きな行事は、「みえ高文祭」「生徒・教員展」での出品・展示があります。

校内の文化祭でも「書作展」を実施し、作品を展示する予定です。多くの方に見ていただければ、幸いです。

家庭部

家庭部は、現在三年生一名、一年生一名の計二名で活動しています。昨年度は、ゆかたや甚平を製作しました。三年生は昨年度に続き被服製作を行っています。ミシンの扱い

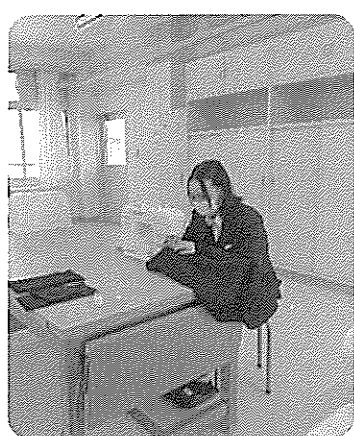
人で活動しています。恵まれた環境とは言えませんが、生徒たち皆グラウンドで生き生きと活動しています。今年度スローガンに「本気」を掲げ、少しずつではありますがサッカーに取り組み姿勢や、学校生活など彼らなりに前を向いて進んでいるなど感じる日々です。日々頑張っておりますので、応援よろしく願います。

吹奏楽部

吹奏楽部は現在二年生二名のみで、月曜日から金曜日まで活動しています。ただ、「吹奏楽部」とは名ばかりで、ピアノとベースのコンビで練習を続けており、金管・木管楽器が出来る生徒の入部を待ち続けているのが現状です。部の存続が危ぶまれているのはここ数年恒例のことですが、何とか新しい部員を獲得したいと考えています。

高校野球夏大会の応援が大変心配されるところですが、顧問も最大限サポートしつつ、現在は応援曲の反復練習に日々コツコツと励んでいます。音量は心もとないですが、出来るだけ球場に響かせるつもりです。弱小部ではあるものの、それゆえ

も慣れてきたので今年は、ショートパンツ作りから始めました。夏に向け、自分の好きな色でショートパンツを「あつ」という間に作り上げました。今は、通学にも使えるようにトートバッグ作りをしています。一年生は、三年生の先輩との時間を楽しみながらスウェーデン刺繍をしました。好きな色の刺繍糸を使ってきれいな刺繍をすることは楽しいようです。できあがった刺繍の一部を使って、くるみボタンに仕上がりしました。最近ではミシンにチャレンジし、巾着袋作りも始めました。家庭部では、自分だけのオリジナル作品を作ることの楽しさを感じながら、週に一回の活動を行っています。被服製作はちょっと難しいところもありますが、コツコツと物作りの時間を楽しんでいます。今後も文化祭での展示に向けて、少しずつ作品を増やしていきたいです。



商業部

商業部は、平日の放課後に週二回の活動を実施しています。活動内容は、ビジネス文書検定や情報処理検定などの一級合格を目指して自主的に勉強しています。また、昨年度は地域のイベントに多数出店することができました。津まつりから始まり、産業教育フェア、二〇二二ふれ愛フェスタin白山や家城の文化祭などに参加することができました。各イベントでは自分たちが考えたゲームを小学生相手に説明をして運営をするなど授業ではできない学びの場となりました。

本年度に入ると、生徒会に申請をして綿菓子機を購入し、学校行事、地域のイベントなどで皆さんを盛り上げるために活動を行っていききたいと思っています。部員には出店を通して、様々なお客様と触れ合い成長してもらいたいと思います。また、日常の部活動においても、検定取得にとどまらず商業の活動がそのまま自分のキャリア形成につながり、将来のつきたい仕事へのきっかけになるようなビジネスプランへの挑戦なども行っていきたいと思っています。今後、各種イベントで白山高校商業部

がお邪魔することもあると思います、その際には、どうぞ応援よろしくお願いします。



茶道部

感染症対策で活動が制限された時期が続いておりましたが、昨年度の文化祭以降、少しずつ地域の方とも触れあえる機会ができました。いくつかのイベントにも参加させていただくことができました。茶道の活動を通じ、地域の方々とふれあうこと

は、一人ひとりが成長できる、とてもよい機会です。部員数は多くないのですが、今後、部活動を通して貴重な経験ができる日が更に増えることを願いながら、日々のお稽古にはげんでおります。今後とも、よろしくお願いいたします。



人権サークル

本年度は、一年生一名、二年生二名、三年生二名で人権サークルのメンバーとして活動しています。

現在の活動状況は、毎月一回程度、金曜日の放課後に、中勢地区高校生人権活動交流会（中勢地区高校生友の会）に参加しています。

四名は、他のクラブ活動と掛け持ちの参加ですが、人権に関する活動の輪が広がるよう、校内の参加も呼びかけていきたいと考えています。

先日、六月七日（金）の人権活動交流会に白山高校からは人権サークルの五名が参加しました。

写真は、津西高校で行われた新入生歓迎会の様子です。当日は、一年生も含めていつもの年よりも多く参加しました。当日は（自分のよいところ十個を紹介し・ジェスチャーゲームしました。）気になっていた人権問題など、自分の気持ちを発表し、交流の輪を深めました。

次回の中勢地区高校生人権活動交流会（中勢地区高校生友の会）は、七月十二日（金）に津西高等学校での開催予定です。

